

教えて考えさせる授業 構想シート

教 科	音 楽	学 年	1 年	指 導 者	
授業日	(9) 月 (23) 日 (水) 曜日				

習得型の授業における「主体的・対話的で深い学び」⇒「学習者基点の能動的な深い学び」

【单元名】	パートの役割や、旋律の重なり方の違いを感じ取って合唱しよう。
-------	--------------------------------

【本時の目標】 本時 (3/4)	歌い方について話し合い、発表しよう。
【めざす子どもの姿】	グループや全体で試行錯誤しながら、協働して音楽表現を創意工夫できる
【困難度査定】 (つまずきのポイント)	<ul style="list-style-type: none"> ・強弱記号や音楽記号の意味を理解している。 ・パートの音取りができています。
【指導上の工夫】 (つまずきに対する手立て)	<ul style="list-style-type: none"> ・強弱記号や音楽記号の意味を確認させる ・パートの音取りをさせる。 ・8分の6拍子のリズムを感じとらせる。

予習 (家庭学習等) <small>本時の学びにどんな課題を持って授業に臨ませたいか ※教科書を読んでくる程度でも良い</small>	エスペランサ (作詞・作曲者ミマス) の解説文を読ませる。
教える内容 (10分) <small>確実に教えたい内容・確実に理解させたい内容を書く ※前時までの確認ではないことに留意する</small>	<ul style="list-style-type: none"> ・主旋律を目立たせる。 ・リズム (言葉) の掛け合いを感じながら歌う。 ・音程やリズム (言葉) をそろえて歌う。 ・歌詞の意味や強弱に気をつけて歌い方の工夫をする。
理解確認課題 (10分) <small>教えた内容が分かったかどうかを確認するための学習内容及び方法 ※ペアで説明し合う活動</small>	※ほぼ全員が達成できることを目標にする内容 ①主旋律、追いかけるように重なっている部分、同じリズムで重なっている部分を楽譜から読み取る。
理解深化課題 (20分) <small>学習した内容を使って深めたり発展させたりして教えたことを定着させるための学習内容及び方法 ※グループで説明し合う活動</small>	※グループ活動の活用を通して最終的に80%が説明できる程度の内容 ①楽譜から読み取った内容を発表し合い、気を付けて歌う点を確認させる。 ②確認したことをワークシートに書かせる。 ③合唱をさせる。
自己評価 (5分) <small>ふり返りで子供たちに記入させたい文章のイメージ</small>	※何が分かって (できて)、何が分からなかった (できなかった) のかを記述させる ○A の部分は低い音程でやや弱く始まる。B の部分は音程が徐々に高くなるので盛り上げて歌う。C の部分はサビのところなのでとても強くリズムや言葉をそろえて歌う。 ○思い通りに歌うことができた。(できなかった。)

